

□議員名：松尾数則

1 山陽小野田市公共施設白書について

論点	公共施設白書の作成経緯について聞きたい。
回答	厳しい財政状況の中で公共施設の維持、管理及び更新の費用を効率化し最小の経費で最大の効果を生み出す施設運営を行っていく。これからの山陽小野田市にとって必要な施設を見極め、施設の統廃合も含め市の公共施設の現状を整理、把握し現状について市民に知ってほしくて作成したものである。

論点	早急に大規模修理や建て替えが必要な公共施設について聞く。
回答	山陽消防署埴生出張所の建て替えについては宇部・山陽小野田消防組合の意見を踏まえて協議をしていく。

論点	勤労青少年会館の再編について聞く。
回答	勤労青少年会館の再編については、山陽勤労青少年ホームの小野田勤労への機能統合の検討を行ったが、山陽総合事務所ができることから今後検討をしたい。

2 山陽小野田環境衛生センターについて

論点	最終処分場はいつまで利用可能か。
回答	現在は処分場に埋めるのはガラス、陶器くずや泥土で、焼却灰の多くはセメント原料としてリサイクルを行っており、相当期間の延命を図っている。今後残余の容量も調べたい。

論点	危険ごみのごみ出しについて聞く。
回答	ボンベの缶等危険ごみについては穴をあけて、空にして提出をお願いしている。困難な場合には環境衛生センターに直接持込みで対応している。穴を空けないでそのまま出すといった事については検討をしていない。

論点	高齢者のゴミ出しについて聞く
回答	ゴミステーションが遠い場合、自治会の申請により近い場所にごみ

	ステーションを増設することも可能である。また、要介護認定や障害者支援区分 1 以上で家族の手伝いが難しい等要件を満たしていれば訪問介護によるごみ出し支援も行っている。
--	---

### 3 ごみ減量化について

論点	山陽小野田市においてごみは減少しているのか聞く。
回答	近年の状況は横ばいあるいは微減である。

論点	指定袋の証紙による収入はごみ減少化に利用されているのか。
回答	管理運営費として利用している。ごみ減量化に特定して使用しているわけではない。

論点	ポイ捨て禁止条例は有効に機能しているのか。
回答	啓発活動を中心に看板の設置等による対応を行っているが有効に働いていない。

論点	飼い犬、空き缶、自動販売機に対する違反に対して勧告処分を行ったことはあるのか。
回答	この条例による勧告命令について適用した事例はない。

論点	違反者に罰金を設ける考えは無いのか。
回答	違反者に罰金を設けることは考えていない。

論点	ごみ減量アドバイザー制度を設けるつもりはないか。
回答	ごみ減量アドバイザー制度を設ける予定はない。